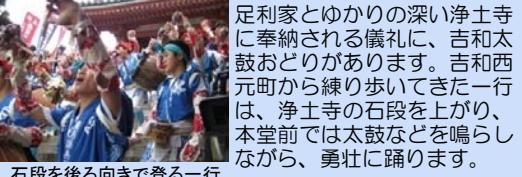


尾道市の維持及び向上すべき歴史的風致

尾道は、近畿から九州、日本海沿岸部、そして朝鮮半島や中国へと続く海上交通の要衝として、特に中世以降、瀬戸内地域の有力な港町として栄えてきました。尾道旧市街地には、中世から近世にかけての寺社をはじめとした建造物が数多く残り、これら歴史的建造物や街並みを舞台に、太鼓おどりや天神祭、ベッチャーフェスティバルなどが営まれています。また、内陸部から島しょ部に広がる市域の中では、坂のまち、多島美の瀬戸内海といったそれぞれの地域の環境・景観を背景に、歴史的建造物と一緒に、神楽や鉦（かね）太鼓おどりなどが各地で営まれており、尾道市固有の歴史的風致を形成しています。

1 中世から現在が重なり合う港町の歴史的風致～港町尾道の寺社と祭礼・行事～

①中世寺院と足利尊氏



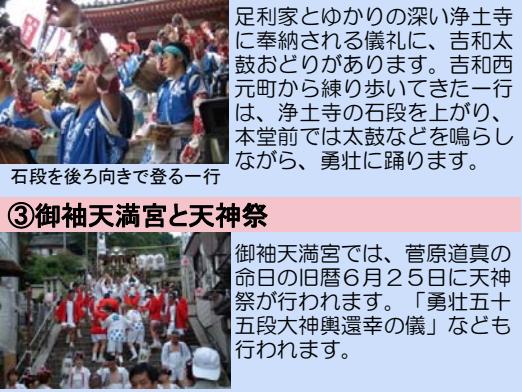
足利家とゆかりの深い浄土寺に奉納される儀礼に、吉和太鼓おどりがあります。吉和西元町から練り歩いてきた一行は、浄土寺の石段を上がり、本堂前では太鼓などを鳴らしながら、勇壮に踊ります。

②西國寺と柴燈護摩



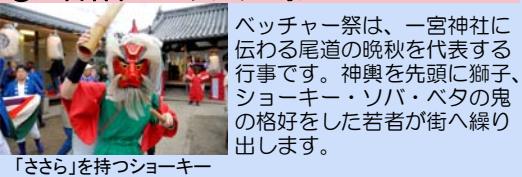
西國寺では、毎年1月8日、新春恒例の「柴燈護摩（さいとうごま）」が行われます。

③御袖天満宮と天神祭



御袖天満宮では、菅原道真的命日の旧暦6月25日に天神祭が行われます。「勇壮五十五段大神輿還幸の儀」なども行われます。

④一宮神社とベッチャーフェスティバル



ベッチャーフェスティバルは、一宮神社に伝わる尾道の晩秋を代表する行事です。神輿を先頭に獅子、ショーキー・ソバ・ベタの鬼の格好をした若者が街へ繰り出します。

2 寺と町家と港町の歴史的風致～瀬戸田～

⑤瀬戸田水道と祭礼・行事



瀬戸田水道を舞台に、高根巣島神社の管絃祭であるホーランエンヤ（旧暦6月17日）と、地蔵院の精霊送り（旧暦7月23日）が行われます。

⑥港町瀬戸田の街並みと祭礼・行事



瀬戸田の街並みの北側の生口神社では7月に祇園祭が、南側の天満神社では10月に神幸祭が行われます。

⑦住吉浜（神社）と住吉まつり、みなと祭



⑧山脇神社と山王祭

山脇神社の祭礼は、「山王祭」（別名「ゆかた祭り」）と呼ばれ、旧暦4月の申の日（5月末）に行われます。



⑨住吉浜（神社）と住吉まつり、みなと祭

住吉神社では、大祭である住吉まつり（花火まつり）が旧暦6月28日夜、神社前の尾道水道で開催されます。また、ゴールデンウィークの2日間には「みなと祭」が開催されます。ともに、住吉浜の築造を主導した町奉行・平山角左衛門の功績を称え、商売繁盛や尾道の発展を願う祭礼・行事です。



住吉神社

住吉まつり

3 豪商と茶の文化が息づく歴史的風致

尾道では、茶室や庭園を利用し、一般の人や観光客も参加できる茶会が、流派を問わず開催されています。



秋の茶会(浄土寺)

4 港町や農山漁村の祭礼・行事が彩る歴史的風致

農耕に関わる祭礼・行事

尾道では、各地の神社などで神樂が舞われ、大きく分けると、芸予諸島に分布する神樂と山間部に分布する備後神樂があげられます。



中庄十二神祇神樂
(県無形民俗文化財)

海に関わる祭礼・行事

因島椋浦町では、毎年8月15日の夕方、「椋浦の法楽おどり」（県無形民俗文化財）が行われます。この他、外浦の法楽おどり、岩子島巣島神社管絃祭（市民俗文化財）、津部田五島神社の「住吉祭の曳船」（市民俗文化財）などが行われています。



椋浦の法楽おどり
(県無形民俗文化財)

瀬戸田歴史的風致地区



重点区域内の歴史的建造物（一例）

浄土寺多宝塔（国宝）

阿弥陀堂（重要文化財）

西國寺仁王門（県重要文化財）



0 2.5 km 5 km

凡 例

● 農耕に関わる祭礼・行事

● 海に関わる祭礼・行事

● その他民俗芸能など

● 主な茶室

※図上の番号は歴史的風致の番号に対応（①～⑨）

